

# 資産形成に向けた 投資リテラシー

長内 智 (株)大和総研  
金融調査部 主任研究員



## 10 投資のための情報収集と留意事項

### ○ 投資に関する書籍の選び方

#### ■最初はインデックス投資の入門書

世の中には非常に多くの投資関連情報があふれています。今後、実際に投資を始めたり、投資額を増やそうという場合、そうした膨大な情報をどのように収集・活用すればよいか悩んでしまうこともあるでしょう。

投資の世界には唯一の正解はありませんが、投資初心者の人であれば、まずは株式のインデックス投資の入門書を読むことから始めてみるのがよいと思います。インデックス投資とは、特定の株価指数(=インデックス)の値動きに連動した運用を目指す投資手法です。

日本の株価指数としては、日経平均株価やTOPIX(東証株価指数)、米国については、S&P500やNASDAQ100などがインデックス投資で用いられる代表的な株価指数になります。また、全世界や先進国、新興国の主要企業を対象とした株価指数も存在します。

筆者が投資を始めた20年以上前は、日本株が投資の入り口というケースも多かったのですが、近年は株式投資信託を購入していくインデックス投資から始めるのがよいという意見が大勢です。この背景の1つとしては、将来の資産形成において、長期・積立・分散投資という考え方が定着してきたことが挙げられます。

また、最初のうちは投資に対する不安から、インデックス投資の入門書を複数冊読んでし

かり勉強したいという人もいるかもしれません。ただし、投資は「習うより慣れよ」という視点も重要です。そのため、よく読まれている入門書を1冊でも読み終えたら、非常に少額からで構わないので、実際に投資を始めてみることも選択肢となります。

インデックス投資を実践する際には、税制優遇を受けられる「NISA(少額投資非課税制度)」の「つみたて投資枠」を活用するのが有力な選択肢になります。

#### ■個別株投資は投資スタイルで選別

投資の初心者ではなく、個別株投資などインデックス投資以外にも関心があるという人は、「投資スタイル」という視点から投資書籍を選別するのがよいでしょう。

代表的な投資スタイルとして、「高配当株投資」や「優待株投資」、「バリュー投資」、「テーマ株投資」と呼ばれるものが挙げられます。他には、「成長株投資」や大幅な株価上昇を見込む「2倍株」、「10倍株」を狙う投資スタイルもあります。

このように、個別株投資では、自分がどのような投資スタイルを取るのか、最初に検討することが大切です。

### ○ SNS情報の「光」と「影」

#### ■インターネット上の無料情報の活用

現在、インターネット上に無料の情報が豊富にあり、日常的に利用されているSNS(交流サ

## 投資の故事時流

### 米国の「ミーム株」

#### ■SNS発の株価急騰劇

投資の世界では、SNSなどインターネット上で話題となって短期間に株価が急騰する株のことを「ミーム株 (Meme Stock)」と呼びます。もともと、「ミーム」という単語は、1970年代に生物・遺伝学の分野で生まれた造語です。その後、インターネットの分野において、情報が人から人に模倣しながら拡散していく様子を示すものとして「インターネットミーム」という用語も使われてきました。

さらに、2020年代に入ると、米国のSNSで注目銘柄として取り上げられ、広く拡散された個別株に個人投資家の買いが集まり、株価が急騰するケースが目立つようになりました。このような株のことを「ミーム株」と呼ぶようになったのです。米国のSNSの中では、個人投資家が集まるインターネット掲示板サイト「Reddit (レディット)」が有名です。また、ミーム株の代表格として米国のゲーム小売企業「ゲームストップ」が挙げられ、同社株は2021年に急騰劇を演じました。

#### ■株価急落リスクにも注意

日本の株式市場においても、ミーム株のようにSNS等で取り上げられたことをきっかけに株価が大きく上昇するケースがあります。このような個別株は、株価急騰に伴い大きな利益を得られる可能性があるため、個人投資家にとって魅力的に映る面もあるでしょう。

しかし、企業業績などを伴わない話題先行の株価急騰には、その後の株価急落リスクが潜んでいるという点も頭に入れておく必要があります。そもそもミーム株として気づいた時点で、すでに株価が高騰しており、かなり割高になっているケースも多いと思います。

このように、ミーム株はハイリスク・ハイリターンと理解しておくのがよいと考えます。

イト)にも有益な情報が数多く存在します。こうした情報を活用すれば、投資書籍を読むことなく、インデックス投資や個別株投資を始めることも可能だと思います。また、運用成績に影響を及ぼす金融・経済や企業の最新ニュースをいち早く取得するには、経済誌のウェブサイトやSNSを活用することが欠かせません。

ただし、長期的な資産形成においては、目先の情報に振り回されないようにすることも重要となります。さらに、SNSを通じた投資詐欺などの金融犯罪にも注意が必要です。

#### ■SNS型投資詐欺の被害拡大

近年、SNSで著名人の写真を悪用して被害者を誘導し、ほぼ確実に儲かるといった巧みな話などで金銭をだまし取る投資詐欺の被害が拡大しています。被害者が詐欺と気付くまでに、多額のお金を振り込んでしまうケースも少なくありません。

警察庁によると、SNS型投資詐欺の2023年1月～2024年9月までの被害総数は5,092件、被害総額は約703.4億円です。年齢・性別に被害割合(除く法人)を確認すると、相対的にSNSを利用していないとみられる中高年の被害割合も高くなっています(図表)。60代以上の割合は44.7%と4割を超えています。

こうした中、自分自身で気をつけるのはもちろんのこと、家族等でお互いに注意喚起しておくことも大切だと思います。

【図表】 SNS型投資詐欺の被害割合

	男性 (%)	女性 (%)
30代以下	6.9	6.4
40代	8.4	7.4
50代	12.8	13.3
60代	15.1	10.6
70代	9.0	6.7
80代以上	2.1	1.3

(注) 2023年1月から2024年9月までの累計(除く法人)。

(出所) 警察庁より大和総研作成